

報告書

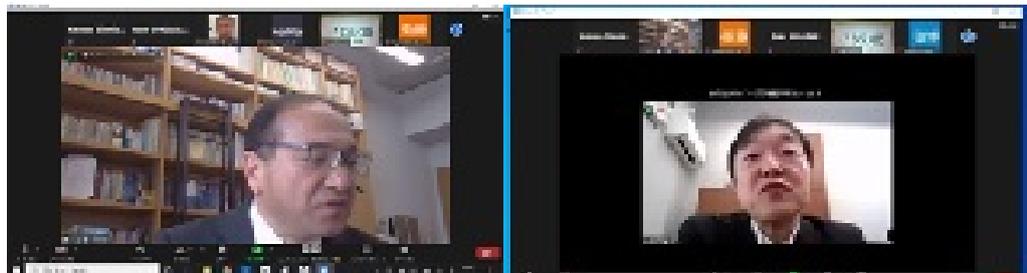
International Symposium on Creation of Advanced Photonic and Electronic Devices 2021

| | |
|-------|---|
| 日時 | March 10 (Wed), 2021 ONLINE hosted by Kyoto University, Japan |
| プログラム | <p style="text-align: center;">International Symposium on Creation of Advanced Photonic and Electronic Devices 2021</p> <p style="text-align: center;">March 10 (Wed), 2021 ONLINE hosted by Kyoto University, Japan</p> <p style="text-align: center;">Program</p> <p style="text-align: center;">12 : 00-13 : 50 Poster Presentation</p> <p style="text-align: center;">Oral Presentation</p> <p>Chair: Y. Kawakami</p> <p>14:00-14:05 Opening Prof. Susumu Noda (Kyoto Univ.)</p> <p>14:05-14:20 Overview of WISE Program "Innovation of Advanced Photonic and Electronic Devices" Prof. Tsunenobu Kimoto (Kyoto Univ.)</p> <p>14:20-14:50 "Direct visualization of solid-liquid interfaces" Prof. Hirofumi Yamada (Kyoto Univ.)</p> <p>Chair: H. Yamada</p> <p>14:50-15:20 "Seeing beneath the waves" Prof. Adam Foster (Aalto University)</p> <p>15:20-15:50 "Topological superconductivity in two-dimensional heterostructures" Prof. Youichi Yanase (Kyoto Univ.)</p> <p style="text-align: center;">15:50-16:05 Break</p> <p>Chair: Y. Yanase</p> <p>16:05-16:35 "Finding the hole pocket: the story of the candidate type-II Weyl semimetal MoTe₂" Associate Prof. Swee Kuan Goh (The Chinese University of Hong Kong)</p> <p>16:35-17:05 "A new concept of low AC loss HTS cable" Prof. Naoyuki Amemiya (Kyoto Univ.)</p> <p>Chair: N. Amemiya</p> <p>17:05-17:35 "High field, lightweight, low impedance magnets" Dr. Tim Coombs (University of Cambridge)</p> <p>17:35-17:40 Closing Prof. Koichiro Tanaka (Kyoto Univ.)</p> |

進行内容

【Oral Presentation】 参加者数 116 名

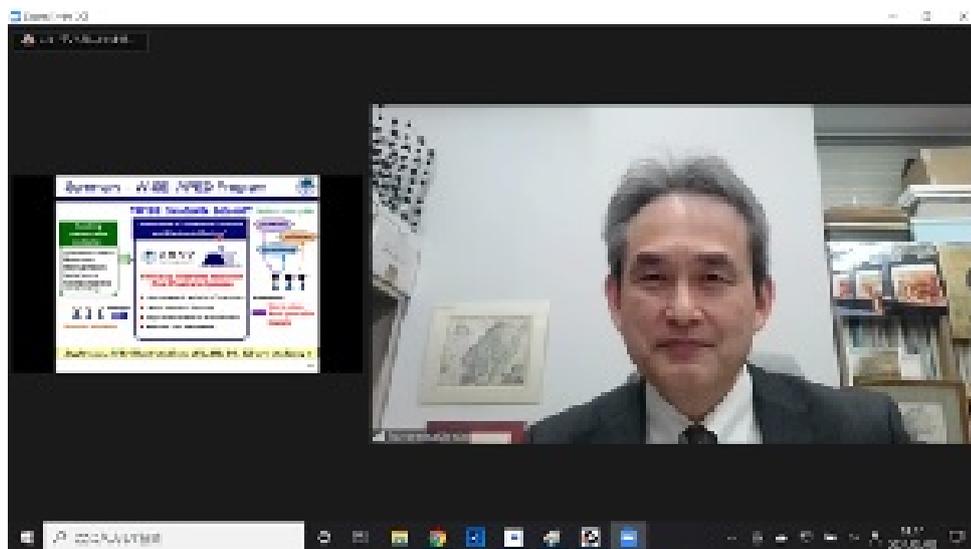
オープニング Chair の川上養一教授より開会され、野田進教授より京都大学工学研究科で毎年恒常的に行われている国際シンポジウムについての概要説明とともに冒頭の挨拶をされた。



<川上養一教授>

<野田進教授>

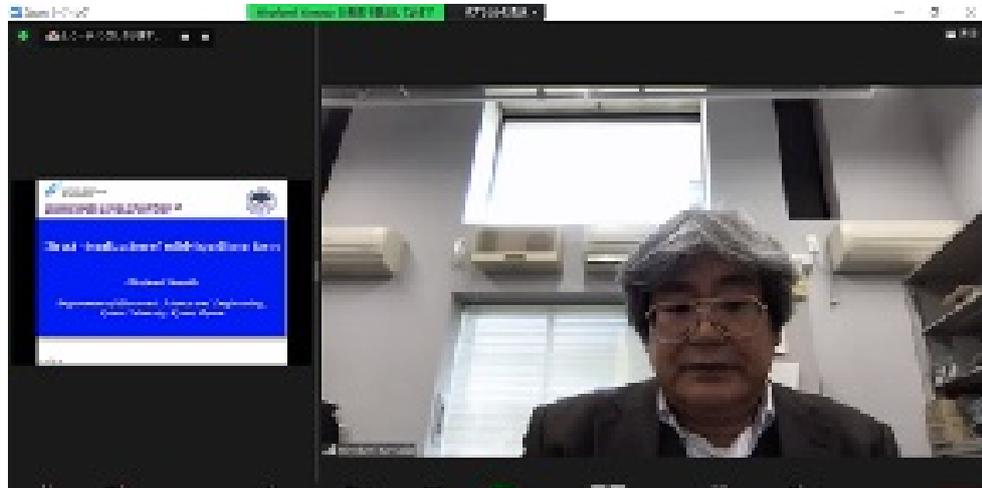
続いて、木本恒暢プログラムコーディネーターより、卓越大学院プログラム(WISE Program)に関する概要説明があり、当該プログラムの構想から骨組にわたり説明され、最新の取組みや成果活動について紹介された。



<木本恒暢プログラムコーディネーター>

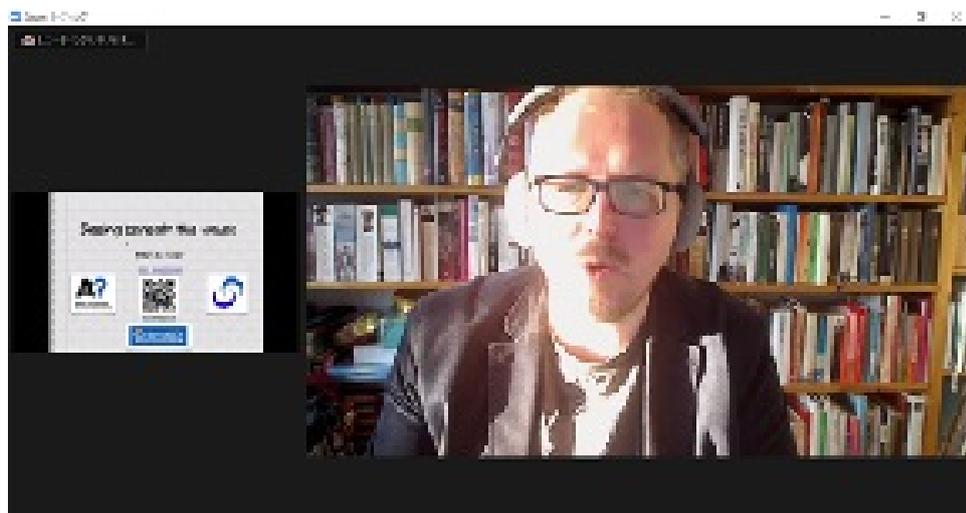
今年度は、雨宮尚之教授・山田啓文教授・柳瀬陽一教授が本学から講演者となり、3 名の本学講演者より招待された海外講演者と交互にプログラム構成された。類似的な分野であると同時に相互理解・知見を深める機会を参加者全員で共有することで、俯瞰的な研究に関する発展が期待される。

はじめに、山田啓文教授より、“Direct visualization of solid-liquid interfaces”について講演が行われた。

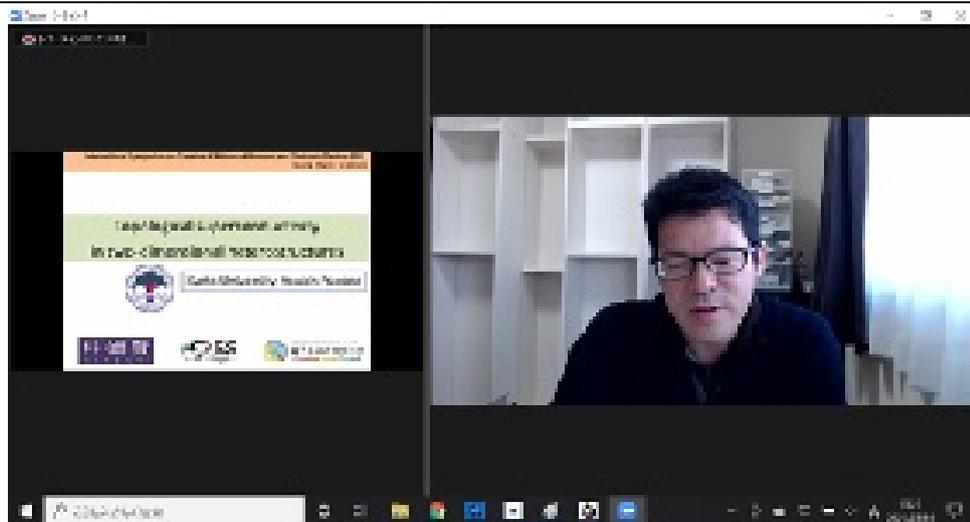


<山田啓文教授>

講演後、山田啓文教授がセッション Chair となり、Prof. Adam Foster(Aalto Univ.)を紹介され、講演“Seeing beneath the waves”が行われた。続いて、柳瀬陽一教授により、講演“Topological superconductivity in two-dimensional heterostructures”が行われた。質疑応答では、山田啓文教授をはじめ、掛谷一弘准教授(京都大学)と白石誠司教授(京都大学)より質問と意見交換をされた。

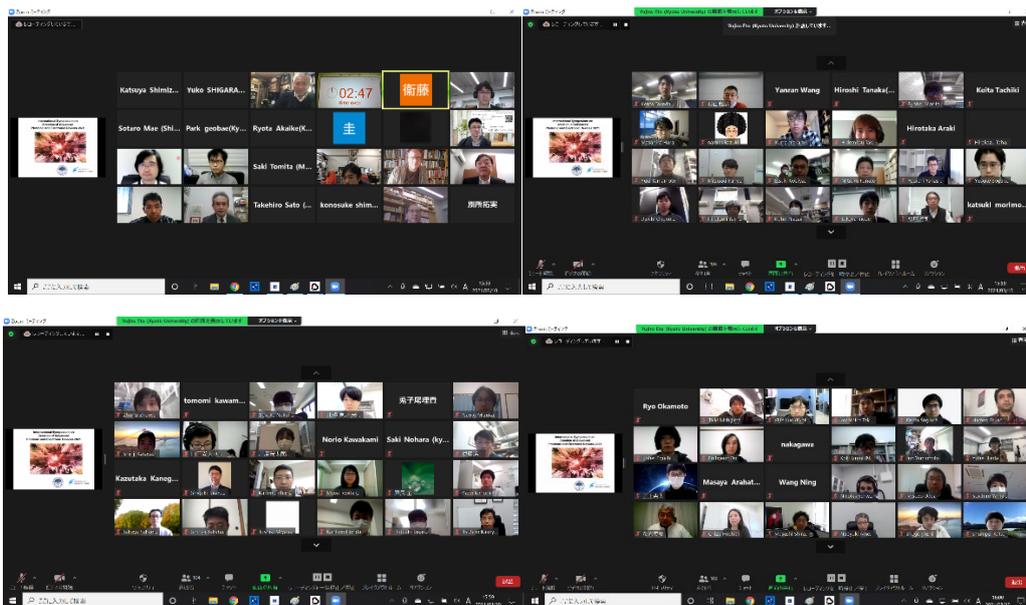


<Prof. Adam Foster(Aalto Univ.)>



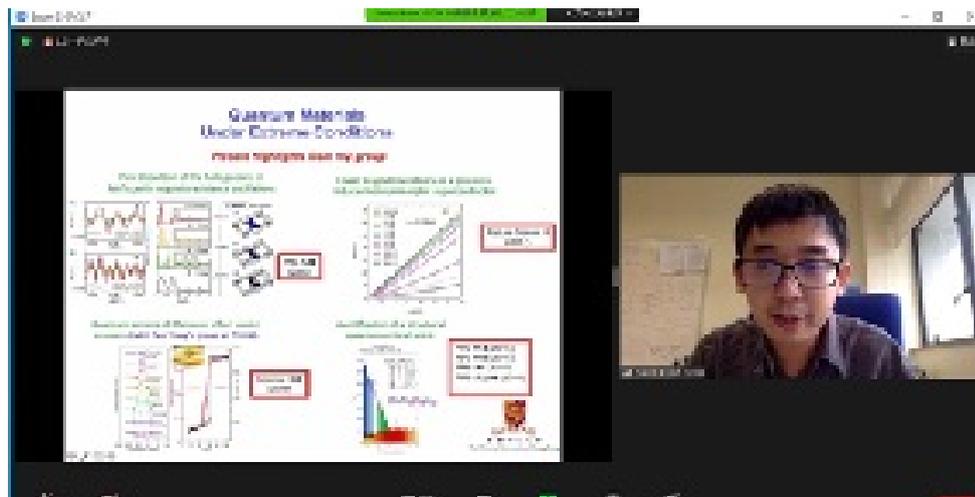
< 柳瀬陽一教授 >

衛藤雄二郎准教授(シンポジウム運営担当)の進行で、オンライン Zoom による記念写真撮影を行った。その後、休憩に入った。



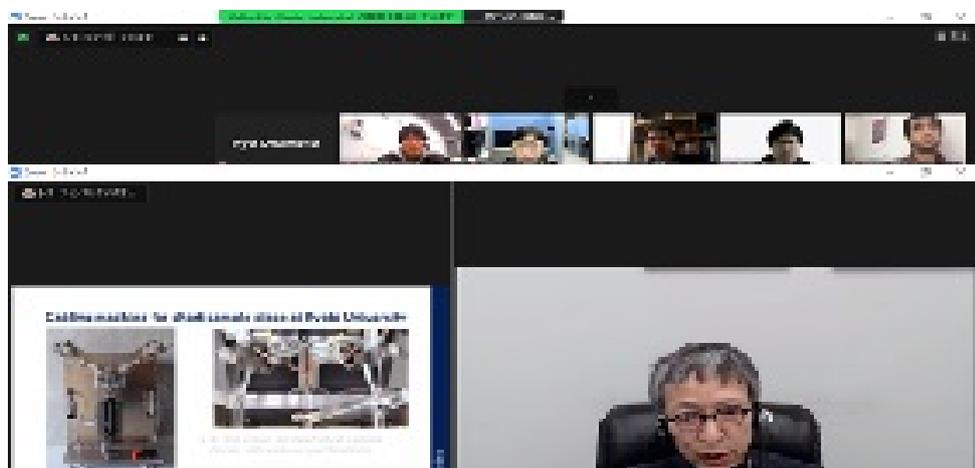
< 集合写真 >

次に、柳瀬陽一准教授がセッション Chair となり、Associate Prof. Swee Kuan Goh(The Chinese Univ. Of Hong Kong)による講演"Finding the hole pocket: the story of the candidate type-II Weyl semimetal MoTe_2 "が行われた。質疑応答では、柳瀬陽一教授をはじめ、白石誠司教授(京都大学)より質問と意見交換をされた。

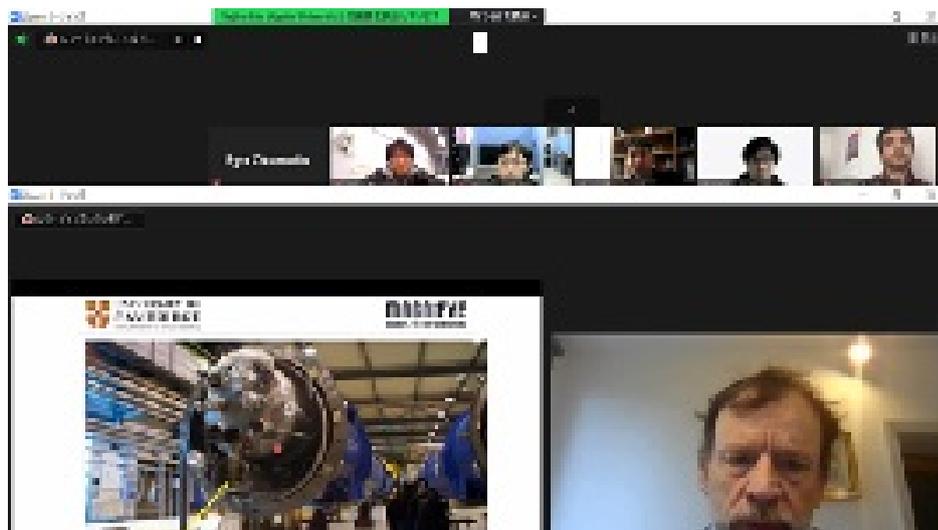


<Associate Prof. Swee Kuan Goh(The Chinese Univ. Of Hong Kong)>

続いて、雨宮尚之教授により講演“A new concept of low AC loss HTS cable”が行われた。併せて、最終セッション Chair をご担当された。最後の講演は Dr. Tim Coombs (Cambridge Univ.)より“High field, lightweight, low impedance magnets”について発表があった。質疑応答では、雨宮尚之教授より別トピックについても質問があり、意見交換された。



<雨宮尚之教授>



<Dr. Tim Coombs(Cambridge Univ.)>

最後に田中耕一郎副コーディネータより閉会の挨拶をされた。

シンポジウム運営担当の衛藤雄二郎准教授により、オンライン終了となった。



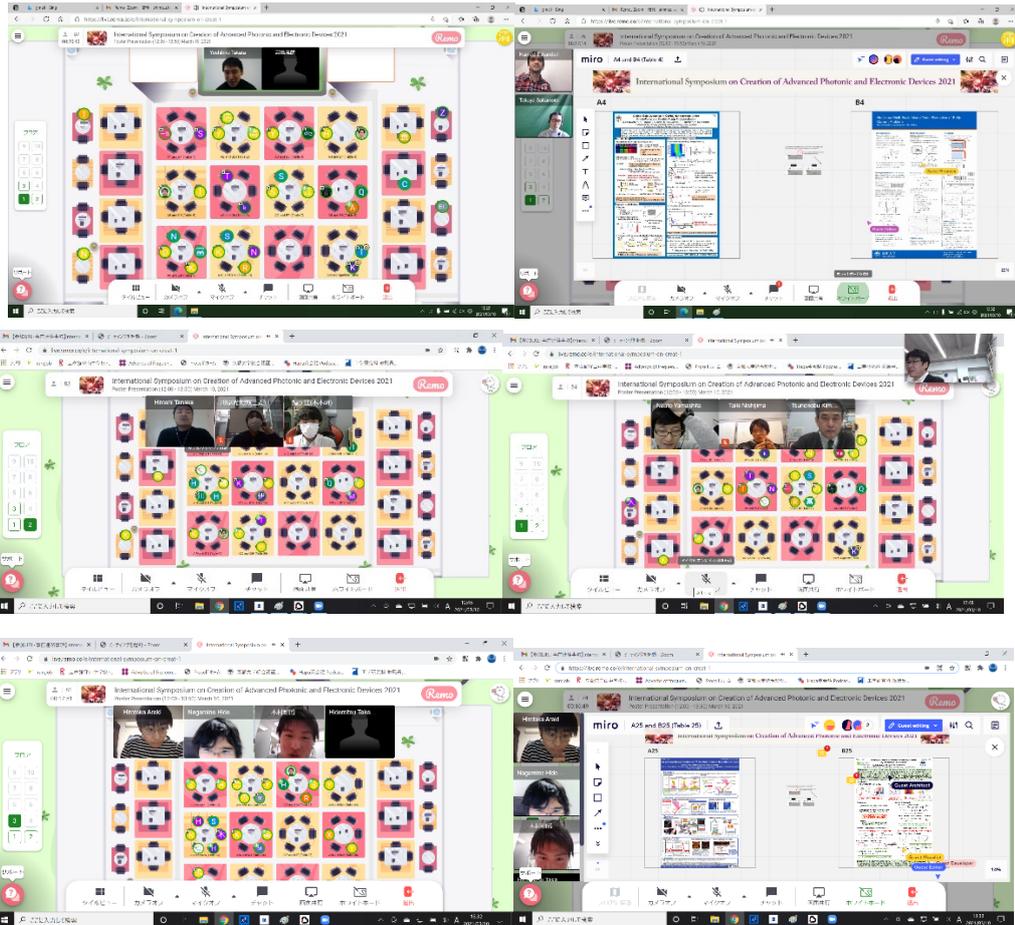
<田中耕一郎副コーディネータ>



<衛藤雄二郎准教授 メイン運営担当>

【ポスター発表】参加者数 104名

Remo と Miro システムによるポスターセッションが行われた。新システムにより学生同士及び参加教員と学外者で、活発なディスカッションが行われた。当該のメイン運営は、小林圭准教授と中西俊博講師が担当された。



以上